

地域から地球へ、環境保全の推進

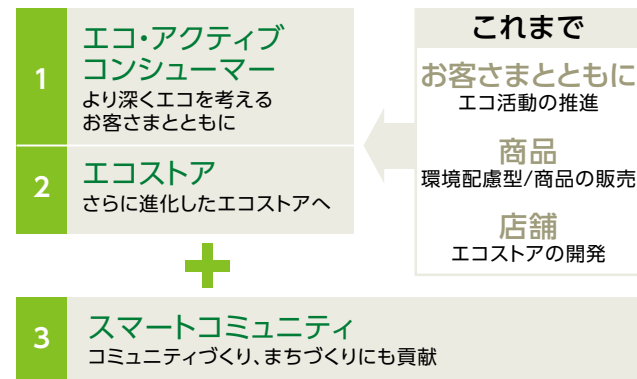
私たちは環境負荷を最小限に抑える最新の技術を導入し、地域の生態系を守る仕組みをつくり、省エネや廃棄物管理の徹底をすることで、自然と調和したまちづくりを推進します。



スマートイオンの展開

スマートイオンとはエネルギーの効率化や防災などにまちなみで対応する次世代型エコストアを指し、環境目標「イオンのエコプロジェクト」が定める基準を満たす持続可能なまちづくりです。当社が運営するモールでは、2016年3月オープン
のイオンモール堺鉄砲町を含む10モールで展開しています。

●スマートイオン



「ライトダウンキャンペーン2016」の実施

当社は2003年より環境省が提唱する「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」に参加しています。2016年は夏至の6月21日およびクールアースデーの7月7日、20時から22時まで店舗外観や建物周辺の照明の消灯を実施しました。参加したのは全国のイオンモール、イオンショッピングセンター143拠点です。



EV(電気自動車)充電器の設置拡大

2008年より当社は地球環境の保全、持続可能な社会の実現をめざし、CO₂を排出しない電気自動車やプラグインハイブリッド車の普及を推進するため、各モールにEV(電気自動車)充電器の設置を進めてきました。2017年3月現在、当社が運営・管理する国内の商業施設の約9割にEV充電器を設置完了し、イオングループの他の商業施設と合わせて日本全国に206拠点のEV充電ステーション網を構築しています。



公共交通機関の利用促進

イオンモールでは、立地に関わらずお客さまが電車や路線バスなど公共交通機関を利用してご来店いただける環境の整備に努めています。特に駅から徒歩圏内のモールでは、鉄道会社や交通局と連携して電車でご来店されたお客さまに特典を提供するなど、公共交通機関を利用しやすい環境づくりを進めています。イオンモール長久手(愛知県)では、最寄り駅である愛知高速交通東部丘陵線(リニモ)の長久手古戦場駅のネーミングライツ取得により副駅名を「イオンモール長久手 前」としたほか、お客さまのリニモ利用促進を目的として交通系IC乗車券利用促進サービス「クテポ」を新たに導入。全国で相互利用している交通系IC乗車券でリニモに乗車してご来店し、モール内の端末にタッチしていただくことでポイントを付与し、一定のポイントがたまるとお買い物券を進呈しています。



自然の力を利用した取り組み

●太陽光発電

イオンモールでは他の商業施設に先駆けて太陽光発電システムを順次導入し、館内の使用電力の一部をまかなっています。一部のモールでは、災害などによる停電時にも太陽光パネルで発電した電力を活用できるシステムを採用しています。



●風力の活用

一部のモールには、風力発電と太陽光発電によるクリーンエネルギーのハイブリッド太陽灯を設置しています。夜間や日照時間の短い冬季でも安定した充電を確保し、災害時でも自然エネルギーのみで終夜点灯が可能です。



イオン ふるさとの森づくり



1991年にマレーシアでスタートした「イオン ふるさとの森づくり」。新しいモールがオープンする際には、地域の自然環境に最も適した、その土地に自生する樹木をお客さまとともに植えています。2017年2月末現在、累計植樹本数は約1,140万本(グループ合計)に達しています。

●壁面緑化/植栽



モール壁面の緑化は景観を向上するだけでなく、建物の断熱性を高めることで夏季の館内における温度上昇を抑制し、冷房で使用するエネルギーの削減につながります。また、各モールの周辺には随所に緑豊かな植栽を施し、自然との調和を図るとともに、うるおいのある憩いの空間を演出しています。

「いきもの共生事業所®」 認証取得モールの拡大

いきもの共生事業所®認証は、「一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)」が作成・登録した「いきもの共生事業所®推進ガイドライン」に基づき、



▲イオンモール常滑の敷地に広がる森「きゅりお」では、25の巣箱を設置して知多半島に生息する野鳥を呼び込んでいます。

「いきもの共生事業推進協議会」が第三者的に評価・認証するものです。2013年にイオンモール東員(三重県)が初めて認証されて以来、認証取得モールは順次増加し、2016年度にオープンしたモールではイオンモール堺鉄砲町(大阪府)とイオンモール長久手(愛知県)が認証を取得し、合計6モールとなりました。

地域から地球へ、環境保全の推進

私たちは環境負荷を最小限に抑える最新の技術を導入し、地域の生態系を守る仕組みをつくり、省エネや廃棄物管理の徹底をすることで、自然と調和したまちづくりを推進します。

水質保全

排水基準を順守するためにすべての飲食店で毎日の厨房グリストラップ清掃を義務づけ、油やごみの流出防止に努めています。そのうえで、店内の厨房から油が流出する事故が発生

した場合に外部への拡散を防止するための訓練を定期的実施しています。また、一部のモールでは排水を浄化するためにバクテリア分解を利用しています。

省エネルギーの取り組み

● LED照明

近年にオープンしたモールでは共用部のLED採用率100%を達成。専門店にも新規モールオープン時や既存店リニューアル時にLEDの採用を呼びかけており、光の色や明るさが選べるようになってきたこともあって着実に切り替えが進んでいます。また、屋外の電飾サインにも消費電力の少ないLED光源ユニットを採用しています。

● 空調冷水カスケードシステム

当社が開発した「空調冷水カスケードシステム」は、複数の空調機をカスケード(連なった)配置とし、夏季の冷水搬送動力の低減ときめ細かな空調負荷対応を実現しました。冬季は館内の人体発熱や照明発熱を冷水で熱吸収させ、外気を温めて送風に利用。一般的なシステムと比較して約50%のエネルギー削減を可能にし、CO₂排出量削減に貢献します。

● 空調換気省エネシステムによる電力コントロール

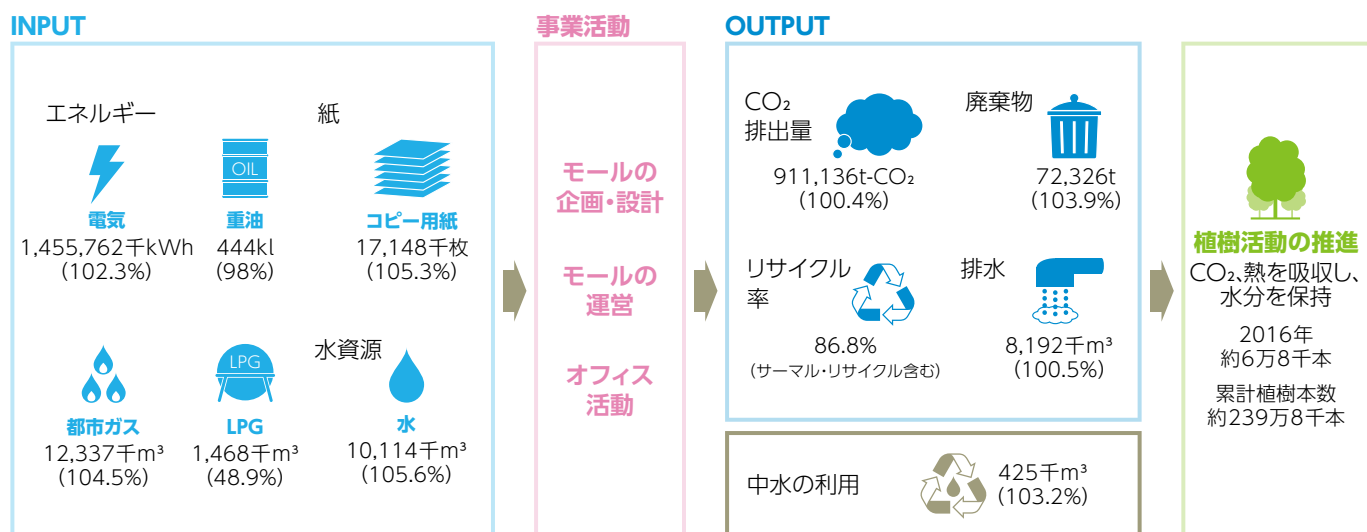
一部のモールで採用されている空調換気省エネシステムであるBAMDS(バンドス)は、高度なIT技術で施設全体のエネルギーを管理し、大幅な省エネルギーを実現します。外気温度・湿度、室内温度・湿度、CO₂濃度を常時モニタリングし、電気設備、空調設備、給排水設備などをITでコントロール。エネルギー効率の最適化を図ります。

(協力:株式会社テクノミライ)

● 温室効果ガス排出量についての第三者検証を受審

2016年10月、当社が排出する温室効果ガス(GHG)の排出量(スコープ1およびスコープ2)について、第三者による検証を受けました。今後も、データの信頼性向上とGHG排出量の継続的な削減に努めていきます。

● 2016年度インプット/アウトプット(国内73モール)



※対象は共有部分、イオン、テナントも含むモール全体。ただし廃棄物およびリサイクル率はテナントとイオンモール事務所が対象、コピー用紙はイオンモール事務所のみが対象となります。 ※ ()内は対前年比

廃棄物削減とリサイクル

モールから出る廃棄物の削減では、専門店に協力をいただいて、「何を、どこで、どれだけ廃棄しているか」を明らかにし、課題として意識づけることが重要です。各モールでは、廃棄物を基本17品目分別したうえで品目ごとに計量するシステムを導入しています。

専門店は各品目を計量した後、計量済みのシールを貼り、品目ごとの保管場所にまとめて廃棄します。分別されたごみのうち、可能なものについては極力リサイクルに回し、各品目ごとにリサイクル率を集計しています。2016年度のリサイクル率は86.8%でした。



▲分類を分かりやすく記したごみ庫。空調を備えて悪臭や害虫の発生を抑えています。



▲廃棄物は品目別に集計して計量。どの専門店がどれだけ廃棄物を出しているかをデータで把握しています。

環境コミュニケーション

各モールの環境負荷低減は当社の従業員だけでなく、専門店やお客さまのご理解・ご協力が重要です。専門店のスタッフには小冊子の配布やバックヤードの掲示物などご協力をお願いしています。また館内ではエコインフォメーションやエコベンチを通して各モールの環境に対する取り組みをご紹介しますとともに、エコバッグの持参やリサイクルへのご協力を呼びかけています。



▲エコインフォメーションでは太陽光発電システムの稼働状況などをご確認いただけます。



▲館内のごみ箱も4品目程度に分類。お客さまにも分別へのご協力をお願いしています。

2016年度の廃棄物排出総量とリサイクル率

全社リサイクル率(サーマル・リサイクル含む)		
		86.8%
項目別排出量とリサイクル率		
項目	排出量	リサイクル率
1 生ごみ	15,620t	92.5%
2 段ボール	19,949t	100.0%
3 雑芥	20,457t	64.2%
4 廃プラスチック	3,199t	98.9%
5 ビン	403t	99.5%
6 缶	628t	100.0%
7 発泡スチロール	114t	100.0%
8 廃油	1,800t	100.0%
9 紙類	2,749t	100.0%
10 粗大ごみ	195t	84.3%
11 その他不燃ごみ	1,254t	74.8%
12 廃蛍光灯	26t	84.9%
13 廃電池	12t	67.9%
14 割り箸	111t	94.3%
15 廃アルカリ・剥離剤	21t	62.4%
16 汚泥	5,181t	88.0%
17 廃エンジンオイル	—	—
18 店頭回収:アルミ缶	77t	100.0%
19 店舗回収:食品トレイ	31t	100.0%
20 店舗回収:牛乳パック	102t	100.0%
21 店舗回収:ペットボトル	396t	100.0%

資源回収・リサイクルの促進

一部のモールでは、ご家庭の古新聞や古雑誌をお持ちいただいたお客さまに重量に応じたリサイクルポイントを発行し、一定のポイントがたまるとイオン商品券と交換するシステムを導入し、古紙のリサイクルを促進しています。回収はモールに設置した専用のボックスで行うため、お買い物のついでにいつでもお持ちいただける点でもご好評をいただいています。また、お客さまのご家庭からペットボトルを回収し、WAONポイントを付与する取り組みも一部のモールで実施しています。



▲ecomco(エコモ)による古紙リサイクルポイントシステム(協力:国際紙パルプ商事株式会社) ※一部モールに設置



▲ご協力いただいたお客さまにはWAONポイントがたまる、ペットボトルの自動回収機 ※一部モールに設置